

名古屋市立大学動物実験規程細則

(趣旨)

第1条 この細則は、名古屋市立大学動物実験規程（平成20年公立大学法人名古屋大学達第90号。以下「規程」という。）第30条の規定に基づき、規程の施行に関して必要な事項を定める。

(実験計画の申請手続き等)

第2条 動物実験責任者は、規程第9条第1項に規定する動物実験計画の申請又は変更をする場合は、動物実験計画申請書（第1号様式）により行うものとする。ただし、実験実施予定期間、実験内容、動物実験責任者及び使用動物種以外の変更にあつては、動物実験計画等変更申請書（第2号様式）により行うものとする。

2 動物実験責任者は、規程第10条第3項に規定するところにより、動物実験計画期間中の各年度が経過するごとに、自己点検及び評価報告書（動物実験計画実施状況）兼動物実験結果報告書・年度更新書（第3号様式）を作成し、部局の長を経由して、学長に提出するものとする。

(一部改正 平成

24年達第62号、平成26年達第74号、平成29年達第21号、令和4年達第101号)

(実験結果の報告)

第3条 動物実験責任者は、規程第10条第2項に規定する実験結果の報告を第3号様式により行うものとする。

(一部改正 平成26年達第74号)

(施設等の設置等)

第4条 規程第11条第1項に規定する施設等の承認を申請する場合は、動物実験施設（設置・変更）承認申請書（第4号様式）又は実験室（設置・変更）承認申請書（第5号様式）により行うものとする。

2 前項の規定は、施設等を変更しようとする場合（管理者を変更する場合を含む。）にも準用する。

3 規程第14条第1項に規定する施設等の廃止をする場合は、施設等廃止届

(第6号様式)により届け出るものとする。

(一部改正 平成26年達第74号)

(記録の保存)

第5条 規程第21条第1項に規定する記録の保存期間は当該実験動物を使った実験の終了後5年とする。

(一部改正 令和4年達第101

号)

(実験動物の種及び数等の報告)

第6条 規程第21条第2項に規定する実験動物の種及び数等の報告は、自己点検及び評価報告書兼実験動物飼養保管状況報告書(第7号様式)により行うものとする。

(一部改正 平成23年達第11号、平成26年達第74号)

(自己点検及び評価の報告)

第7条 規程第27条第1項及び第2項に規定する自己点検及び評価の報告は、動物実験責任者にあつては第3号様式により、管理者にあつては第7号様式及び自己点検及び評価報告書(実験室管理状況)(第8号様式)により行うものとする。

2 部局の長が、規程第27条第3項の規定より当該部局の自己点検及び評価の総括をした場合は、その結果を動物実験に関する自己点検及び評価報告書(第9号様式)により学長に報告するものとする。

(一部改正 平成24年達第62号、平成26年達第74号、令和4年達第101

号)

附 則

この細則は、平成21年2月20日から施行する。ただし、第2条及び第3条の規定は、同年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年公立大学法人名古屋市立大学達第11号)

この細則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年公立大学法人名古屋市立大学達第62号)

1 この細則は、発布の日(以下「施行日」という。)から施行する。

- 2 施行日の前日までにおいて、この細則による改正後の名古屋市立大学動物実験規程細則（以下「改正後細則」という。）の規定に準じて作成された様式にあっては、改正後細則の様式の要件を満たしているものとみなす。

附 則（平成25年公立大学法人名古屋市立大学達第52号）

- 1 この細則は、発布の日（以下「施行日」という。）から施行する。
- 2 施行日の前日までにおいて、この細則による改正後の名古屋市立大学動物実験規程細則（以下「改正後細則」という。）の規定に準じて作成された様式にあっては、改正後細則の様式の要件を満たしているものとみなす。

附 則（平成26年公立大学法人名古屋市立大学達第74号）

- 1 この細則は、発布の日（以下「施行日」という。）から施行する。
- 2 施行日の前日までにおいて、この細則による改正後の名古屋市立大学動物実験規程細則（以下「改正後細則」という。）の規定に準じて作成された様式にあっては、改正後細則の様式の要件を満たしているものとみなす。

附 則（平成27年公立大学法人名古屋市立大学達第68号）

- 1 この細則は、平成27年11月1日（以下「施行日」という。）から施行する。
- 2 施行日の前日までにおいて、この細則による改正後の名古屋市立大学動物実験規程細則（以下「改正後細則」という。）の規定に準じて作成された様式にあっては、改正後細則の様式の要件を満たしているものとみなす。

附 則（平成29年公立大学法人名古屋市立大学達第21号）

- 1 この細則は、平成29年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。
- 2 施行日の前日までにおいて、この細則による改正後の名古屋市立大学動物実験規程細則（以下「改正後細則」という。）の規定に準じて作成された様式にあっては、改正後細則の様式の要件を満たしているものとみなす。

附 則（令和4年公立大学法人名古屋市立大学達第101号）

- 1 この細則は、発布の日（以下「施行日」という。）から施行し、この細則による改正後の名古屋市立大学動物実験規程細則（以下「改正後細則」という。）の規定は、令和4年4月1日から適用する。
- 2 施行日の前日までにおいて、改正後細則の規定に準じて作成された様式にあっては、改正後細則の様式の要件を満たしているものとみなす。

附 則（令和8年公立大学法人名古屋市立大学達第10号）

- 1 この規程は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の際現にこの規程による改正前の各規程の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規程による改正後の各規程の規定に基づいて提出されたものとみなす。
- 3 この規程の施行の際現にこの規程による改正前の各規程の規定に基づいて作成されている用紙は、この規程による改正後の各規程の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

第1号様式

No.
承認年月日 年 月 日

動物実験計画申請書（新規・継続）

年 月 日

（あて先）

名古屋市立大学学長

実験責任者

所 属

職

氏 名

名古屋市立大学動物実験規程第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

動物実験の課題名	
----------	--

※ 既承認期間	※ 既承認番号
年 月 日～ 年 月 日	No.
※ 延長期間	
年 月 日～ 年 月 日	

※実験実施予定期間変更申請時に記入（この場合、計画書については新規申請時の計画書の写しを添付すること。）

実験の概要

(動物に行う処置, 飼養動物数の根拠などを具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」および「動物の苦痛軽減・排除方法」等と科学的整合性を考慮して記載してください。「動物の苦痛軽減・排除方法」で「5. 動物が耐え難い痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。」にチェックした場合は、人道的エンドポイントについて記載してください。)

	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的保証	遺伝的保証	入手先 (導入機関名)
					下記選択欄より該当する数字を記入		
使用動物							
	選択欄 1、有 2、無 3、SPF 4、その他（下記補足記入欄内に具体的に記入） 補足記入欄						
使用予定実験室	実験動物研究教育センター（川澄キャンパス）内 <input type="checkbox"/> コンベ <input type="checkbox"/> SPF <input type="checkbox"/> 特殊実験室 共同利用（先端薬学）研究施設（田辺通キャンパス）内実験室 <input type="checkbox"/> コンベ <input type="checkbox"/> SPF その他 名称： 所在地：						
	動物実験施設・実験室 承認番号						
特殊実験区分	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類： <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 バイオセーフティ委員会承認申請番号： <input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験（※） 区分： <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A 遺伝子組換え実験安全委員会 承認実験番号： 研究題目： ※ 遺伝子組換え実験の申請書及び承認書のコピー、譲渡された動物を用いる場合にはカルタヘナ法に基づく情報提供書のコピーを添付してください。 <input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験 ※ 発がん物質等危険物質を用いた動物実験に関するガイドラインを確認のうえ、以下のいずれかをチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 「発がん物質等危険物質投与実験申請書」を添付 <input type="checkbox"/> 該当なし						
動物実験の種類	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3. その他（下記空欄に種類を記入）						

動物実験を必要とする理由	<input type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 検討したが、代替手段の精度が不十分だった。 <input type="checkbox"/> 3. その他（下記空欄に具体的に記入）
想定される苦痛の категория	<input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験 <input type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み（短時間持続するもの）を伴うと思われる実験 <input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、動物に対して重度のストレスまたは痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験
動物の苦痛軽減、排除の方法	<input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束及び注射など、軽微な苦痛の範囲であり特に処置を講ずる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 <input type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 具体的薬剤名： 投与量・経路： ※ 麻薬を使用する場合は、麻薬研究者免許証の写しを添付してください。 <input type="checkbox"/> 4. 実験の都合上、長時間（24 時間以上）の保定・拘束はやむを得ない。 <input type="checkbox"/> 5. 動物が耐え難い痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 6. その他（下記空欄に具体的に記入）
安楽死の方法	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 具体的薬剤名： 投与量・経路： <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 <input type="checkbox"/> 頸椎脱臼 <input type="checkbox"/> 断首 <input type="checkbox"/> その他（下記に理由を具体的に記入） 理由： <input type="checkbox"/> 4. 安楽死させない その理由を記入：
動物死体の処理方法	<input type="checkbox"/> 1. 大学内で焼却 <input type="checkbox"/> 2. 外部業者に委託 <input type="checkbox"/> 3. その他（下記空欄に具体的に記入）

動物実験計画書の使用動物欄において使用系統数が多いため、以下に記載します。

	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的保証	遺伝的保証	入手先 (導入機関名)
					下記選択欄より該当する数字を記入		
使用動物							
	選択欄 1、有 2、無 3、SPF 4、その他（下記補足記入欄内に具体的に記入） 補足記入欄						

（

一部改正 平成 24 年達第 62 号、平成 25 年達第 52 号、平成 26 年達第 74 号、平成 27 年達第 68 号、平成 29 年達第 21 号、令和 4 年達第 101 号、令和 8 年達第 10 号）

第2号様式

動物実験計画等変更申請書

年 月 日

(あて先)

名古屋市立大学学長

実験責任者

所 属 :

職 :

氏 名 :

承認番号： の動物実験計画を下記のとおり、変更したいので承認願います。

記

1. 変更事項

連絡者・動物実験実施者の変更

実験実施者の追加等があれば、下記についても記載すること

実験実施者	氏 名		教育訓練受講経験 (() 内に直近の受講年月)	
	追加		<input type="checkbox"/> 有 (年 月) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (年 月) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (年 月) <input type="checkbox"/> 無	
削除		/		

使用動物種の変更 (マウス・ラットに限る)

使用動物(系統)の変更

使用動物数の変更 (系統名： 匹追加 / XX 匹から YY 匹へ変更)

使用施設等の変更

麻酔薬等の種類・投与経路の変更

遺伝子組換え実験等安全委員会承認実験番号の変更

バイオセーフティ委員会承認申請番号の変更

その他 ()

注 実験実施予定期間、実験内容、動物実験責任者又はマウス・ラット以外の使用動物種の変更にあつては、「動物実験計画申請書(第1号様式)」を「継続」として新たに提出すること。

注 変更の結果、麻薬を使用する場合は、麻薬研究者免許証の写しを添付すること。

第3号様式

____年度自己点検及び評価報告書（動物実験計画実施状況）兼
動物実験結果報告書・年度更新書

（あて先）名古屋市立大学学長

名古屋市立大学動物実験規程第10条第2項・第3項及び第27条第1項の規定に基づき、次のとおり報告します。

提出年月日： 年 月 日		提出 ペー ジ 数：	受付年月日： 年 月 日	
提出の目的	<input type="checkbox"/> A：自己点検及び評価報告書、動物実験結果報告書（動物実験計画を完了又は中止した場合）（以下、(A)に記入） <input type="checkbox"/> B：自己点検及び評価報告書、年度更新書（以下、(B)に記入）			
動物実験の課題名 (A, B)				
承認番号 (A, B)			承認年月日： 年 月 日	
動物実験責任者 (A, B)	所属：			
	氏名：		職：	
	連絡先(内線)：		E-mail：	
実験実施(予定)期間 (A, B)	承認日 ～ 年 月 日			
麻薬の使用 (A, B)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(ありにチェックした場合は麻薬研究者免許証の写しを添付すること)		
1 年度内に実験内容の変更を行ったか。(A, B)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(ありにチェックした場合は下記も記入すること)		
	【第1号様式を提出し、承認済であること】 <input type="checkbox"/> 動物実験責任者の変更 <input type="checkbox"/> 課題名の変更 <input type="checkbox"/> 実験の目的の変更 <input type="checkbox"/> 方法等実験の概要の変更 <input type="checkbox"/> 使用動物種の変更(マウス・ラット以外)			
2-1 次年度以降に新規の実験計画に引き継ぐ予定はあるか。(A)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(ありにチェックした場合は下記も記入すること)		
	<input type="checkbox"/> 動物実験責任者の変更 <input type="checkbox"/> 課題名の変更 <input type="checkbox"/> 実験の目的の変更 <input type="checkbox"/> 方法等実験の概要の変更 <input type="checkbox"/> 使用動物種の変更(マウス・ラット以外) ※いずれの場合も動物実験計画申請書(第1号様式)の提出が必要			
2-2 次年度以降に変更の予定があるか。(B)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり(ありにチェックした場合は下記も記入すること)		
	<input type="checkbox"/> 連絡者・動物実験実施者の変更 <input type="checkbox"/> 使用動物(系統)の変更 <input type="checkbox"/> 使用動物数の変更 <input type="checkbox"/> 使用動物種の変更(マウス・ラットに限る) <input type="checkbox"/> 使用施設等の変更 <input type="checkbox"/> 麻酔薬等の種類・投与経路の変更 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会承認実験番号の変更 <input type="checkbox"/> バイオセーフティ委員会承認申請番号の変更 <input type="checkbox"/> その他 ※いずれの場合も動物実験計画等変更申請書(第2号様式)の提出が必要			

部局委員会記入欄	記入日： 年 月 日	
	<input type="checkbox"/> 特に問題なし	<input type="checkbox"/> 下記の点に注意を要する
	注意を要する点：	
学長承認欄	名古屋市立大学学長 _____	

備考：使用匹数とは、安楽死処分数、譲渡数及び自然死数等の合計をいう。

自己点検及び評価報告書（動物実験計画実施状況）、動物実験結果報告書並びに年度更新書の動物の使用数欄において、使用系統数が多いため、以下に記載します。

9 動物の使用数 (A, B) (系統数が多い場合は 別添でも可。年度内に 追加した動物には○ を付加すること)	動物種	品種・系統	総使用 予定匹 数 (C)	前年度 までの 使用匹 数 (D)	今年度 使用匹 数 (E)	残数 (C-D-E)

備考

使用匹数とは、安楽死処分数、譲渡数及び自然死数等の合計をいう。

(
一部改正 平成 24 年達第 62 号、平成 25 年達第 52 号、平成 26 年達第 74 号、平成
27 年達第 68 号、平成 29 年達第 21 号、令和 4 年達第 101 号、令和 8 年達第 10 号)

第4号様式

動物実験施設（設置・変更）承認申請書

年 月 日

（あて先）

名古屋市立大学学長

名古屋市立大学動物実験規程第11条第1項に基づき、下記の動物実験施設設置・変更の承認について申請します。

動物実験施設の名称	
動物実験施設の所在地	(電話)
動物実験施設の管理体制	(管理者) 所属・職 氏名 連絡先(電話) (メールアドレス)
	(実験動物管理者) 所属・職 氏名 連絡先(電話) (メールアドレス)
	(飼養者) 所属・職 氏名 連絡先(電話) (メールアドレス)
	(飼養者) 所属・職 氏名 連絡先(電話) (メールアドレス)
施設の概要	1) 建物の構造(例:鉄筋コンクリート造)
	2) 空調設備(例:温湿度制御、換気回数等)

	3) 飼養保管する予定の実験動物種
	4) 飼養保管設備 (飼育装置のタイプと最大収容可能数)
	5) 逸走防止策 (ケージの施錠、前室の有無、窓や排水溝の封鎖など)
	6) 衛生設備 (洗浄・消毒・滅菌等の設備)
	7) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺の悪影響防止策
実施される動物実験	<input type="checkbox"/> 一般動物実験 <input type="checkbox"/> 感染動物実験 (<input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3) <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え動物使用実験 (<input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) <input type="checkbox"/> 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 化学的危険物質使用実験
特記事項	
部局委員会 記入欄	調査年月日： 年 月 日 調査結果： <input type="checkbox"/> 申請された動物実験施設は、規程に適合する。 <input type="checkbox"/> 申請された動物実験施設は、規程に適合しない。 意見等
学長承認欄	<u>名古屋市立大学学長</u>
施設承認番号	

添付資料

・所在地を示す地図，および平面図，ケージなどの飼育設備を説明する写真などを添付すること。

(一部改正 平成 25 年達第 52 号、平成 26 年達第 74 号、平成 29 年達第 21 号、令和 4 年達第 101 号、令和 8 年達第 10 号)

第5号様式

実験室（設置・変更）承認申請書

年 月 日

（あて先）

名古屋市立大学学長

名古屋市立大学動物実験規程第11条第1項に基づき、下記の実験室設置・変更の承認について申請します。

実験室の名称	
実験室の所在地	
実験室の管理体制	管理者 所属・職 氏名 連絡先（電話） （メールアドレス）
実験室の概要	1) 実験室の面積
	m ²
	2) 実験に使用する予定の実験動物種
	3) 実験設備（特殊装置の有無等）
	4) 逃走防止策（前室の有無、窓や排水溝の封鎖など）
	5) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺の悪影響防止策

実施される 動物実験	<input type="checkbox"/> 一般動物実験 <input type="checkbox"/> 感染動物実験 (<input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3) <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え動物使用実験 (<input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) <input type="checkbox"/> 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 化学的危険物質使用実験
特記事項	
部局委員会 記入欄	調査年月日： 年 月 日 調査結果： <input type="checkbox"/> 申請された実験室は、規程に適合する。 <input type="checkbox"/> 申請された実験室は、規程に適合しない。 意見等
学長承認欄	名古屋市立大学学長 _____
実験室承認番号	

添付資料

- ・所在地を示す地図，および平面図，ケージなどの飼育設備を説明する写真などを添付すること。

第6号様式

施設等廃止届

年 月 日

(あて先)

名古屋市立大学学長

名古屋市立大学動物実験規程第14条第1項に基づき、下記のとおり届出いたします。

廃止する施設等の名称	名称
管理者	所属・職 氏名 連絡先 (電話) (メールアドレス)
廃止年月日	年 月 日
廃止後の利用予定	
廃止時に残存した飼養保管動物の措置 (動物実験施設の場合のみ記載)	残存飼養保管動物の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合の措置
特記事項	
委員会記入欄	
学長承認欄	名古屋市立大学学長 _____

第7号様式

____年度自己点検及び評価報告書兼実験動物飼養保管状況報告書

(あて先) 名古屋市立大学学長

名古屋市立大学動物実験規程第21条第2項及び第27条第2項の規定に基づき、次のとおり報告します。

提出年月日： 年 月 日		受付年月日： 年 月 日			
動物実験施設の名称				承認番号	
管理者	所属：				
	氏名：			職：	
	連絡先(内線)：		E-mail：		
実験動物管理者	所属：				
	氏名：			職：	
	連絡先(内線)：		E-mail：		
拡散防止措置区分	<input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え動物使用実験は実施していない				
1 総合的管理状況	総合的に見て、管理することができたか。				
	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)				
2 動物実験及び飼養保管の状況	動物を適正に飼養保管し、動物実験に用いたか。				
	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)				
	飼養保管動物種：				
3 逸走防止策の状況	逸走防止策は適正に実施されていたか。				
	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)				
4 周辺環境への悪影響防止策の状況	周辺環境への悪影響防止策は適正に実施されていたか。				
	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)				
5 安全確保	ヒトの安全に配慮した適正な環境が整備されていたか。				
	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)				
6 実験動物飼養保管状況	動物種	期間当初の匹数 ※1	導入匹数 ※2	使用匹数 ※3	期間末の匹数 ※4
	マウス				
	ラット				

7 施設利用者数 ※5	
8 施設利用研究 課題数 (動物実験 計画書数)	
9 事故・病歴等 (逸走、動物由来 の咬傷、搔傷等) の発生状況及び 対応	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (ありにチェックした場合は下記も記入すること)
	発生年月日： 状況： 対応：
10 特記事項	
部局委員会記入欄	記入日： 年 月 日
	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 下記の点に注意を要する
	注意を要する点：
学長承認欄	名古屋市立大学学長 _____

- ※1 自己点検及び評価を行った年度当初の匹数
- ※2 購入、出生等により増加した匹数
- ※3 安楽死処分数、譲渡数及び自然死数等の合計
- ※4 自己点検及び評価を行った年度末の匹数
- ※5 名古屋市立大学動物実験規程第3条第11号に規定する「管理者等」の人数

(

一部改正 平成23年達第11号、平成24年達第62号、平成25年達第52号、平成26年達第74号、平成29年達第21号、令和4年達第101号、令和8年達第10号)

____年度自己点検及び評価報告書（実験室管理状況）

（あて先）名古屋市立大学学長

名古屋市立大学動物実験規程第27条第2項の規定に基づき、次のとおり報告します。

提出年月日： 年 月 日	受付年月日： 年 月 日
実験室の名称	承認番号
管理者	所属：
	氏名： 職：
	連絡先(内線)： E-mail：
拡散防止措置区分	<input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え動物使用実験は実施していない
1 総合的管理状況	総合的に見て、管理することができたか。 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)
2 動物実験及び一時的保管の状況	動物を適正に一時的保管し、動物実験に用いたか。 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：) 一時的保管動物種：
3 逸走防止策の状況	逸走防止策は適正に実施されていたか。 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)
4 周辺環境への悪影響防止策の状況	周辺環境への悪影響防止策は適正に実施されていたか。 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)
5 安全確保	ヒトの安全に配慮した適正な環境が整備されていたか。 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 不良(理由：)
6 事故等(逸走、動物由来の咬傷、搔傷等)の発生状況及び対応	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(ありにチェックした場合は下記も記入すること) 発生年月日： 状況： 対応：
7 特記事項	
部局委員会記入欄	記入日： 年 月 日
	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 下記の点に注意を要する
	注意を要する点：
学長承認欄	名古屋市立大学学長 _____

第9号様式

____年度の動物実験に関する自己点検及び評価報告書

名古屋市立大学____研究科

____年____月

1. 部局動物実験委員会

(部局動物実験委員会は、名古屋市立大学動物実験規程に定められた機能を果たしているか。)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記すること。)
4) 改善の方針

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認及び結果報告がされているか。)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が審査されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記すること。)
4) 改善の方針

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか。)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とすること。)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記すること。)

4) 改善の方針

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か。飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか。)

1) 評価結果

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
|--|

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記すること。)

4) 改善の方針

5. 施設等の維持管理の状況

(部局内の施設等は適正な維持管理が実施されているか。修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか。)

1) 評価結果

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 |
|--|

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記すること。)

4) 改善の方針

6. その他

(動物実験の実施状況において、部局特有の点検・評価事項およびその結果)

--